

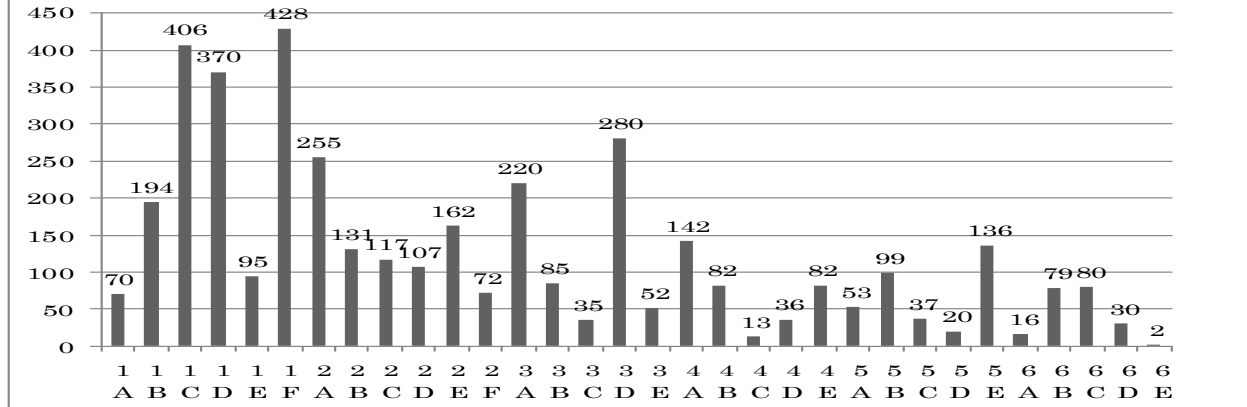
あけましておめでとうございます。年が明け、冬休みも終わりました。今年も多くの本と出会い、充実した一年にしてほしいです。今年もぜひたくさん図書室を利用してください。

## 先生おすすめブック・リスト

今年度も「先生おすすめブック・リスト」ができあがりました。12月22日に配布いたしました。図書室では先生方が推薦して下さった本を集めて特集をしています。ぜひ手にとって読んでみてください。



## クラス別貸出統計 (2011/4/1~2011/12/31)



## 小論文に役立つ本

皆さん、小論文を書こう!と思ったときに何から手を付けたらいいのか迷うことはありませんか?小論文を書くときには、様々な情報を的確に捉える必要があります。そのために役立つ本を紹介します。

『池上彰の新聞活用術』池上彰:著 ダイヤモンド社

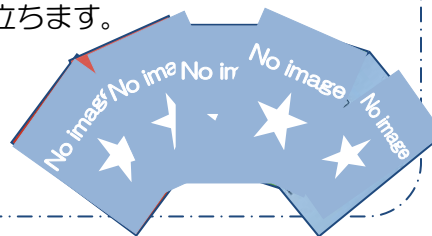
ビジネスや勉強に必要な情報はもちろんのこと、書く力、読む力、分析する力など、さまざまなスキルを磨く手助けにもなるのが新聞です。その魅力と活用術を紹介した本です。

『お父さんが教える 自由研究の書き方』赤木かん子:著 自由国民社

研究するテーマを決める、とっておきの方法、図書館の利用のしかた、レポートの書きかたの手順……。自由研究に取り組む前に知っておきたい「研究の基礎」

を紹介するガイドブックです。これは小論文を書く上で非常に役立ちます。

『一冊でわかるシリーズ』岩波書店も、医療倫理・脳・古代哲学・進化・グローバル化等幅広い内容で物事を理解するのに利用しやすいです。図書室に揃っています。



# 合唱祭特集



もうすぐ待ちに待った合唱祭ですね。毎日朝練習をしていて、今年の合唱祭も期待できそうです。今回は、合唱祭に役立つ資料を紹介していきたいと思います。まだこれからでも間に合いますよ。

『文化系部活動アイデアガイド 合唱部』山崎朋子:監修/汐文社

No image



みんなで声を合わせるのとはとても気持ちが良いものです。合唱は、そんなふうに関わり合せて歌うもの。声は一人一人違います。いろいろな声が混ざり合い、解け合って、美しいハーモニーとなります。それを手助けしてくれるのがこの本。例えば右上のページでは、口を大きく開けて笑顔で歌うための方法が書かれています。絵入りでわかりやすいです。右下のページでは、本番の心構えなどが説明されています。舞台では、歩き方やお辞儀の仕方はもちろん、鼻をさわるとか髪を直すしくさも結構目立ちます。気をつけましょうね!!

No image



No image



『学校で楽しむ みんなの合唱 校内合唱コンクール編』

さいとうみのる:文/汐文社

No image



まさに合唱祭のために存在しているかのような本です。「合唱」を楽しむためのシリーズ。1巻は「校内合唱コンクール編」として、クラスでの話し合いから始め、合唱の基礎知識をイラストを多用しQ&Aも交えてやさしく解説。二部合唱用楽譜として「翼をください」等4曲を収録しています。右上のページは、歌っている時の視線をどこに向けるのかを説明しています。視線に気をつけるだけで、声が遠くまで届くように歌えるようになります。右下は、よくクラスであるトラブル解決のためのページです。みんなで練習を重ねて歌い上げた美しいハーモニーは、クラスに連帯感や達成感を与えてくれるだけでなく、聴いている生徒にも感動を与えてくれます。

No image



No image



No image



『赤とんぼはなぜ竿の先にとまるのか? 童謡・唱歌を科学する』稲垣栄洋:著/東京堂出版  
童謡「赤とんぼ」では、どうして赤とんぼは竿の先にとまるのか? 唱歌「ちょうちょう」では、どうして“菜の花”ではなく“菜の葉”にとまるのか? 童謡・唱歌の歌詞に隠された自然科学の秘密を解き明かす。

『日本のうた大全集』

長田暁二:編著/自由現代社

日本でよく歌われる叙情歌の詩を解説をしています。あなたの好きな歌ができた背景を知りたいときはどうぞ!!

No image

